

会 議 録

会 議 名 称	令和2年度 第1回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和2年7月1日(水) 午前10時開会 午後0時閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者(委員)の氏名	<p>公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 委員 鹿野 良子【副会長】 登米市景観形成会議 寺島 洋子 登米市都市計画審議会 遊佐 正克 登米市男女共同参画審議会 会長 須藤 明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 吉田 信幸 登米市中学校長会 鈴木 光之 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 一般社団法人登米市医師会 副会長 松本 宏 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 宍戸 敬吾 登米市民生委員児童委員協議会 会長 小橋 三男 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉 みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股 育夫 登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部 泰彦 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 高橋 平克 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤 正美 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 鈴木 香 公益社団法人とめ青年会議所 理事長 千葉 隼人 株式会社七十七銀行 佐沼支店 支店長 三品 克巳 株式会社仙台銀行 佐沼支店 支店長 郝 栄光 株式会社日本金融公庫 石巻支店 支店長 今成 潔 連合宮城仙北地域協議会 事務局長 伊藤 秀樹 株式会社登米コミュニティエフエム 代表取締役 齊藤 恵一</p> <p style="text-align: right;">以上 25 人</p>
欠席者(委員)の氏名	欠席者 無

<p>事務局職員名</p>	<p>【事務局】</p> <p>まちづくり推進部 部長 佐藤 裕之 まちづくり推進部 次長 佐藤 嘉浩 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐（総合調整）伊藤 宏一 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐兼まちづくり推進係長 岸名 紀彦 まちづくり推進部まちづくり推進課 まちづくり推進係 主査 佐藤 彩</p>
<p>議題</p>	<p>【協議事項】</p> <p>①第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について ②登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について ③第二次登米市総合計画基本計画の見直し（案）について ④（仮称）第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について（案）</p>
<p>会議結果</p>	<p>別添のとおり</p>
<p>会議経過</p>	<p>別添のとおり</p>
<p>会議資料</p>	<p>【資料1】 第二次登米市総合計画 令和元年度実施状況について 【資料2】 登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年度実施状況について 【資料3】 第二次登米市総合計画基本計画新旧対照表（案） 【資料4】（仮称）第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について（案） 【参考資料1】 地方創生SDGsローカル指標リスト（2019年8月版）</p>

発言者	発言要旨
【1 開 会】	
事務局	<p>皆様、本日はお忙しいところお集りいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、これから登米市総合計画審議会を開催させていただきたいと思います。</p> <p>本日の審議会につきましては、次第にありますとおり、委嘱状の交付、会長及び副会長の互選の他、協議4件につきましてご審議をいただくこととしております。</p> <p>それでは委嘱状の交付をさせていただきたいと思います。</p> <p>市長が席の前にお伺いするスタイルで委嘱状を交付させていただきまので、その場でご起立いただきまして、受領の方をよろしくお願いいたします。</p>
【2 委嘱状の交付】	
	市長から就任される委員に対し、委嘱状を交付。
【3 市長挨拶】	
市 長	<p>皆さんおはようございます。梅雨真っ盛りという季節になりました。少し過ごしにくい日が続いております。</p> <p>また、西日本の方あるいは関東の方では大雨ということも聞こえてきておりまして、昨年は登米市も大雨で大きな被害を受けたこともございますので、これから非常に心配な季節になってくるのかなと思っているところでもございます。</p> <p>また、マスクを掛けさせていただいてのご挨拶ということで、大変失礼をさせていただきますけれども、コロナの影響がまだまだ収まらない、そのように思っております。4月29日以降、宮城県には感染者が出なくて非常に少し安堵しておったところでもありますけれども、ここ数日、仙台市を中心に6名程の感染者が新たに増えているということで、まだまだ油断は禁物なのかなと、しっかり我々も頑張っていかなければならないのかなと思っているところでもございます。</p> <p>委員の皆様方には本日ご出席をいただきまして、感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>只今、20名の委員の皆様につきましては、新たな任期としての委嘱状を交付させていただきました。これから2年間どうぞよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>また、臨時委員の5名の方につきましては、次期登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に関してご協議いただくため、本年度末までの任期として、様々な視点からのご意見やご指導いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の会議では、第二次登米市総合計画基本計画並びに登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和元年度実績値について、各評価指標項目における成果の検証を行っていただくものであります。</p> <p>また、第二次登米市総合計画基本計画の見直しにつきましては、後期5年</p>

	<p>間の計画に当たり、これまでご協議をいただいたところであります。その後、庁内でさらに議論を重ね検討して参りました。現段階での内容を確認していただき、さらに検討していただくものでもございます。</p> <p>さらに、登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略につきましても、昨年度、計画期間を1年延長する改訂版の策定を行いました。その次の新たな計画策定が必要となっており、今回、策定に向けての骨子案を作成いたしましたので、今後の戦略策定にあたり、ご確認、ご検討をお願いするところでもございます。</p> <p>どうぞ本日はよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。</p>
【4 委員紹介】	
	委員の皆様を事務局より紹介。併せて事務局紹介。
【5 会長及び副会長の互選】	
事務局	<p>続きまして、会長及び副会長の互選に入らせていただきます。</p> <p>登米市総合計画審議会条例第6条におきまして、審議会に会長及び副会長をそれぞれ1人を置き、委員の互選によって定めると規定をしておりますので、暫時の間、市長が仮議長となりまして選定を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、市長よろしくお願いたします。</p>
仮議長	<p>それでは暫時の間、私が仮議長をさせていただきます、進行をさせていただきます。</p> <p>始めに、会長及び副会長の互選に当たりまして、自薦・推薦等のご発言をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。</p>
	【自薦・推薦の発言無し】
委員	事務局案はどうでしょうか。
仮議長	事務局案でよろしいですか。
	【意義なし】
仮議長	ありがとうございます。それでは事務局、よろしくお願いたします。
事務局	それでは、総合計画基本計画の見直し等につきまして、前期の皆様からご協議いただいているところもございますので、前期に引き続きまして、会長を徳永委員をお願いしたいと思っております。副会長を鹿野良子委員をお願いしたいと思っております。
仮議長	只今、事務局案として、会長に徳永委員、そして副会長に鹿野委員の推薦がございましたけれども、いかがでしょうか。
	【意義なし】
仮議長	ありがとうございます。それでは拍手をもってご承認をお願いいたします。
	【拍手】

仮議長	それでは会長に徳永委員、副会長に鹿野委員と決定をいたしました。 どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。
事務局	仮議長の市長、どうもありがとうございました。 それではここで、会長に就任いただきました徳永委員からご挨拶をいただきたいと思います。
会 長	改めまして宮城大学の徳永でございます。前期に引き続きということで会長の大任でございますが、皆様方のご協力をもちまして進めて参りたいと思いますので、ひとつよろしくお願いいたします。
	【市長退席】
【6 議 題】	
事務局	それでは議事に入らせていただきます。 議長につきましては登米市総合計画審議会条例第7条の規定によりまして、会長が議長となり、議事の進行を行っていただくことになってございますので、徳永委員、よろしくお願いいたします。
会 長	それでは、早速ですが、議事の方を進行させていただきます。 コロナ対策といいますか、ということで、なるべく短時間に済ませられればと思っておりますけれども、とはいえ、活発なご議論をいただきたいということで、よろしくお願いいたします。 それではまず、議事に入る前に会の成立の確認でございます。登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要ということでございますが、本日は20名の委員に出席をいただいておりますので、会は成立しております。 それから次に会議録の議事録署名人の指名でございますけれども、今回は8番 佐々木猛委員、9番 鈴木敬一委員にお願いしたいと思います。 ひとつよろしくお願いいたします。 それでは議題に入ります。 「(1) 第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について」事務局より説明をよろしくお願いいたします。
事務局	(配布資料1に基づき説明を行う)
会 長	それでは、委員の皆さんからご質問、ご意見等いただきたいと思います。
会 長	今回のコロナ感染症対策ということで、おそらく2月とか3月くらいからは、その影響がだいぶ出始めているんだろうと思うのですが、この元年度の実績の中で、その影響があつて減ってるのかなという部分、あるいはそれとは関係なく減ってしまっているものが混在しているように感じるものですから、そのあたり全体をよく読んでいないので、補足がそれを兼ねているのかも知れませんが、数値だけみるとちょっと気になるころではあつたので、そのあたりの取扱いを事務局としてどのように考えるかお聞かせいただければと思います。

事務局	<p>確かに、例えば6ページにありますNo. 15, 16のような事業の参加者数につきましてはどうしても前年度より若干減少しているようなところもございますし、実施時期の関係で影響していないという部分もございます。そういったところにつきまして、細かく分析というところまでは現状の段階では、していないところではございますが、そのような項目があるということはございます。</p>
会 長	<p>取扱いについて、また事務局内で検討いただければと思いますけれども、その他委員の皆様の方から何かありませんでしょうか。</p> <p>この会議の場で、一つ一つ全部見ていくわけにも参りませんので、また皆様方のご関心分野について、より詳しく聞きたいことがあれば、後ほど事務局の方にお問い合わせいただければと思います。</p> <p>では、とりあえず先に進ませていただいて、関連しますけれども、「(2) 登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について」事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	(配布資料2に基づき説明を行う)
会 長	<p>それではこちらにつきまして、委員の皆様から、ご質問、ご意見ございましたらよろしく願いいたします。</p>
	【質疑無し】
会 長	<p>先ほどの総合計画の方の成果指標の検証と併せて、この後の議論にあります総合計画の見直し、それから次期総合戦略の策定、こちらの方に反映させていくということでございますので、またそちらの議論の時にこちらの数値等でご意見いただいても結構かなと思いますので、よろしければそちらの説明を先にしていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは「(3)の第二次登米市総合計画の見直し(案)について」事務局よりご説明よろしく願いします。</p>
事務局	(配布資料3に基づき説明を行う)
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは委員皆様からご質問、ご意見ございましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>なかなか資料の量が膨大でございまして、事前送付はされたといっても、なかなかじっくりご覧になる時間も取れなかったのかなと思いますが、どこからでも結構ですので、もし気になる点ございましたら、よろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>まず私からよろしいでしょうか。</p> <p>今回、新型コロナウイルス感染症ということで、若干それが盛り込まれておりますけれども、実はこれがどれくらいの期間に渡って影響を与えるのかということがよく分かっていない。ただ、かなり長期化するだろうということではあります。1年、2年でまた元に戻るということになるのか、この計画期間5</p>

	<p>年ずっとということになるのか、なかなか見通せない段階ということで、例えば9ページでは、(2)の下のところ、新型コロナウイルス感染症の影響により…と入れてありますと、この5年間ずっと影響を受けて大変だよというようなニュアンスになってしまうのかなと思うのですが。</p> <p>短期的には確かに非常に重要でどのように対応するのかというのが喫緊の課題としてあるわけですが、長期計画の中でどう位置付けるかとなると結構難しいのかなという意識で聞いておりましたけれども、書きぶりで少しこれは注意事項として常に検討していきますよくらいの位置付けでいいのか、本筋のところにも盛り込むというスタンスでいくのかということですね。</p> <p>その一方で、大変だということだけではなく、実は地方にとってはこれを逆の武器といいますか、機会として使うことも出来るのかなと思っておまして、リモートでの会議・勤務だったり、そういう働き方改革という流れの中で、なにも都会に住まなくても地方で豊かな暮らしをするということの方がいいのではないかという流れも出てき始めているので、このあたりも、今すぐにどうこうというのは書きづらい問題ではありますけれども、それを積極的に機会と捉えて打って出るといいますか、定住促進等に結び付けていくということはあるのかなと思ったりもしています。</p> <p>なかなか本文の中でどう表現するかというのは非常に難しいんですけども、少し認識としてそういうスタンスを持っていただけるとありがたいかなとは思っております。</p> <p>事務局の方で何かコメント、意見として聞いておいていただくということでも大丈夫です。</p>
事務局	<p>今回、新型コロナウイルス感染症関係の記述ということで、先ほども説明いたしました。登米市を取り巻く情勢という中で大きく記述をさせていただきました。</p> <p>その1点目として、9ページ、(2)産業振興と雇用の創出、それから13ページ、厳しさを増す地方財政という括りの中で、表現をさせていただいたところでございますが、前回も策定する時点の状況、登米市を取り巻く情勢ということで、それぞれの項目の中で内容を入れ込んだという経緯がございまして、確かに現状を見れば大きな影響があり、それがいつまで続くかわからないということもございまして、ただその実態として、この登米市を取り巻く状況の中では、この新型コロナウイルスの関係がかなり大きいと考えてございましたので、取り巻く情勢の2つの項目の中には明記させていただいたところでございます。</p> <p>ただ一方で、今会長がお話になったような部分もあると思いますので、今後それらも含めた中で、総合的に調整をしていきたいと考えてございます。</p>
会 長	<p>よろしく願いいたします。その他いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>57ページですが、前回無かった商工振興についてです。特に今度の見直しの中で、地域の商工会や金融機関等の関係機関が一体となって…ということ</p>

	<p>で、大変ありがとうございます。</p> <p>国でも地方自治体と連携をとりながら商工振興を図りなさいと、お互いに連携をとってですね、地方自治体でも商工会の分野について、万全を尽くして指導しなさいということだと思えます。今、市内の商工会でも市長に、これからの商工会の振興を図るため、登米市の商工振興条例を作っていたきたいと申し出ておりますし、それから今、我々の一番の課題は、商工会法では1つの市町村に1つの商工会と規定されているわけですが、登米市には今3つの商工会が活動しており、その合併についても自治体の指導いただきながら、実現していきたいと思っておりますので、そのあたりも踏まえて商工振興を図っていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>大変ご苦労様です。これだけの資料を作って、本当に登米市が安心して住めるようなまちになっていただきたいと思うわけですが、実は前回は、前々回もいつもお話ししているんですが、施設をどういう位置付けにして、市民に安心と安全を提供するのかというところが、今ひとつはつきりしないなという感じがします。</p> <p>市長も先ほど言っていました、台風19号が昨年ありまして、普通の災害の避難所ということではなくて、水害の避難ということで、2階が使えるところとの位置付けの中で、たまたま私どもの体育協会が指定管理を受けている中田アリーナが2階があるということで、避難所という指示を受けました。中田アリーナの2階、合宿棟もあるから避難してという話になったんだと思うのですが、実際は避難所として体を成していなかったということは、その後で中田総合支所の方にも話はしたんですが、2階に上られる人はそんなにおらず、要は、車いすの方がお出でになった時もありまして、2人や3人での対応では車いすの方を2階へ移動させるという対応はとても難しいという状況があり、結局中田アリーナの体育館にシートを敷いてという形になりました。水害で水増しになるのに下にということはないのではとお話ししましたが、大丈夫でしょうということで、全くその水害に対する避難ということが、今ひとつはつきりしていない。</p> <p>「水の里」という位置付けをされている登米市が、水に対する対応がきちっとなされていないということはいかがなものかという気がします。</p> <p>それで、水害になった時に、何処にどう避難するのかということが、喫緊の課題だろうと思う。併せて、今、コロナ禍が問題となっています。感染症の心配がいつまで続くか分かりませんが、7月となり、これからが台風シーズンになってくるといえるときに、避難所が普通の避難所と違って2階が確保できる避難所、もちろん2階がある家の方は2階に上がって避難をするということはあると思いますが、そのような方たちばかりではない。そういう避難をする場所を登米市としてどう指定してどう対応していくかということ、普通の状況でさえ大変な中で、このコロナの感染症対策でソーシャルディスタンスを確保してというような話もいろいろあるわけで、避難所を一体どうするのかということがどこにも記載されていない。</p>

	<p>先ほど会長がお話しになったように、このコロナ禍がいつまで続くかわからない中で、これは喫緊の課題だと思いますので、とりあえずそういったところを、資料に記載のとおり、災害に強い安心して暮らせるまちづくりを目指すのであれば、当面市民が一番不安に思っているところ、あの台風19号の怖さを皆が知っているわけです。7月からは台風シーズンということもありますので、どうぞ、この安心安全なまちづくりの中で大切な避難所の位置付けというのもしっかり対応していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>昨年も避難所というのは指定してございましたが、ただやはり水害の際には指定した避難所が機能を果たせなくなるような部分もございましたので、現在その辺を含めて見直しをして、地震等の災害あるいはその水害も含めた中での避難所の在り方というものを今、検討しております。委員のお話にもありましたとおり、何か月以内には台風が来るかもしれませんので、その辺はしっかりと避難所のみならず、対応していきたいなと思っております。</p> <p>災害に強いまちづくりということもございますので、意見等を踏まえながら、個別の計画になる部分もあるかとは思いますが、今後5年を目指した計画でございますので、意見を踏まえながら検討を加えてまいりたいと思います。</p>
委員	<p>よろしくをお願いします。</p>
副会長	<p>31ページの教育に関して、お聞きします。</p> <p>私も大学で授業を持ってありますが、このコロナの件で、急に3月から遠隔授業ということで、オンラインで授業をすることになり、本当にビギナーだったために、本当に大変でした。それに加えて子どもたちが、臨時休校になって、2か月くらい様子を見ていたんですけれども、ここに「登米市学習スタンダードに則って…」とあるわけですが、「登米市学習スタンダード」がどういったものかは分からないんですけれども、すぐに実現できるかどうかは別として、「取組と課題」というところに、「ICT化の推進」という文言があります。もう一步踏み込んで「今後の方向性」というところで「ICT化」という言葉をきちんと入れていった方がいいのではないかと思います。</p> <p>すぐに出来ることではないとは思いますが、各学校には子ども用のタブレットも準備されていると聞いております。「学習スタンダード」の内容がわからないので、もしかするとその中に含まれているかも知れないのですが、今後の取組や、不登校の生徒に対しても大変その遠隔授業が功を奏しているということもありますから、学力向上とか生徒の姿をもっともっと向上させるというのであれば、もう一步踏み込んで、時間はかかるとは思いますが、そのような文言も入れて、取り組むぞというような方向も大切なのではないかと思っております。すぐには、なかなか私みたいにビギナーでズームのやり方で、おろおろしてしまったりして大変ですけれども、マイクロソフトとか、そのようなソフトを駆使しながらということで、大変ですが、教育の中でもそういったような発想がどんどん必要となってくるのではないかな</p>

	<p>と感じたところです。</p> <p>「備えあれば憂いなし」といいますが、私は備えてございませんでしたのでこの2, 3か月おろおろしてばかりでしたが、その辺いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>只今ご意見のありましたICTの関係ですが、これには教育部でもしっかりと対応をしていこうということで、例えば32ページの施策4、学校教育の充実の⑥の中に、「教育環境の充実のためにICT環境の整備と活用を推進する」という文言を見直しの中で新たに追加させております。文部科学省でもGIGAスクールということを出してございますので、それに遅れないように乗っていきたいということでございます。</p> <p>只今のご意見には対応できるものと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>よく読んでおらず、申し訳ございません。</p> <p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>実は私もICTとかりモトとかをやってみての感想ですが、うちの大学の場合は基本的には学生はパソコンを必携という形でやっておりましたので、ハード的にはそんなに問題はありませんでした。ただ問題はそれを使いこなすスキルと言いますか、それは教員側も含めて、逆にそれについては学生の方が対応が早いのかなと思います。学生の場合はパソコンじゃなくてもスマホで自由にやっているといったところが多いような気がします。</p> <p>実は私ここに着くまでの間、車の中でスマホで会議につないで、会議の話だけを聞いて来たんですが、意外と基本の機器を使っても会話出来るなと思っております。</p> <p>そういった中で危険なのはハード整備が重点的になりすぎて、ハードを非常に高い金額で購入するんですが、それはあっという間に陳腐化してしまうということで、投資効率が実はあまりないということにも成りかねないので、その辺はしっかり見極めた中で、最低限の環境整備はしていけないといけないのですが、それと並行して、それを使う側のスキルをいかに高めていくかということに力を入れていかなければならないかなと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>資料作成お疲れ様でございます。今回、総合計画の基本計画の中でSDGsに取り組まれるということでございますが、ひとつ不安といいますか、登米青年会議所という団体では2018年頃からこのSDGsの推進をさせていただいておりました。本日もバッジを付けさせてもらっておりますが、最近ようやく浸透してきましたが、当初は「何の宗教団体のバッジですか」とか馬鹿にされるようなこともあり、このSDGsの浸透というのはまだまだなのかなと思います。今回この総合計画の方に盛り込まれるということで、ぜひ市の職員皆様への浸透をまず第一に図っていただきたいなと思います。</p> <p>また、ホームページであったり、我々の団体ですと各種案内文にこの事業</p>

	<p>がSDGsのどの目標に対して行っている事業なのかということが分かるように案内文に載せさせていただいたり、そのように細かいところで浸透を図らせていただいております。</p> <p>これは、登米市がSDGsを推進しますというところから市内の各企業がこのSDGsというものを同じく推進していきますと、お互い企業は自社の利益または地域貢献にも繋がり、それがまちにとってもいいことになります。</p> <p>そんなWin-Winな関係構築が出来るかと思いますので、ぜひ、ここに掲げる以上はしっかりと浸透というものを今後、図っていただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>SDGsの部分でございますけれども、今回この基本計画の中では17のゴールの目標全てを入れることが出来たということで、ただ、委員お話のとおり、どこまで職員へ浸透しているかということは疑問がございます。</p> <p>私どもも、今回総合計画であったり、これから説明する、まち・ひと・しごと創生総合戦略であったりそのものにもしっかりと位置付けながら計画策定していきたいと考えておりますけれども、やはりそれを知っていただくというような取組も大切だと考えております。</p> <p>令和元年度で言いますと、市の職員がいろんなSDGsの研修会に参加したりというようなこともございますけれども、やはり今後、全庁的な意識も踏まえた中で、そういった研修会の開催も必要だと認識しておりますので、いただいた意見を踏まえながら、今後対応していきたいと考えてございます。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>今回SDGsで各施策ごとに、これはどのゴールに関係しているかということでマークを入れていただいて、そういう意味では何に向かって取り組んでいくのかということがはっきりと分かって、非常にいい取組だなと思って見ていたところです。</p> <p>要は、こういうものを浸透させていくというツールとしてこういった取組はいいんだろうと思うのですが、そう考えますと実は総合計画って正にそれで、施策は細かく分かれているんですが、結局はそれで登米を住みやすいまちにしていく、元気なまちにしていくという大きな目標に向かってこの施策があるんだということですので、それが項目立てされているからそれが読めるということかもしれませんが、あるいは逆にこのゴールから見たときに、どのゴールとどの施策が連携して、それが相乗効果でより良いものになっていくんだというような関係性ですね、そこが、職員・市民それぞれ共有して取り組んでいければ、より良い成果に結びついていくと思っておりますので、そのあたりを含めて、総合計画としてのゴールというの、職員に意識してもらい、それを市民にも伝えていく、そういう取組が必要だなと、今の話を聞いて思いましたので、併せてよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>またじっくり読んでいくと気になる点とかが出てくるかと思いますので、先ほどスケジュールのご説明がありましたが、この後、議会ですとか、パブ</p>

	<p>リックコメント、タウンミーティングという形で市民の意見も聞いてというプロセスがありますので、それと並行して委員の皆様からも何かあればご意見を出していただくという形で、本日いただいた意見に限らず、次回までに検討を進めていっていただければと思います。</p> <p>ということで、とりあえずよろしいでしょうか。</p> <p>それでは次の議題ですが、「(4) (仮称) 第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について (案)」について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	(配布資料4に基づき説明を行う)
会長	ありがとうございました。それでは、ご質問、ご意見等ありましたらよろしくをお願いいたします。
委員	<p>計画を達成するためには、戦略の他に戦術が最終的に必要なもので、それがこのSDGsでやるのかなと思って聞いてみたんですが、令和3年度に計画を出すので、それまでに戦術まで作ってしまうのか、それとも戦術を作るところで5年間かけるのかということなんです。</p> <p>戦術が無ければ5年間どうしようもないと思いますので。</p>
事務局	こちらの戦略につきましては、令和3年度からの5年間の計画を今年度中に策定するというものでございます。
委員	この会議の中では、戦術というか、何をやるかということが見えていない。こう進めますというような、どういう計画があって、どう進めていくというのは、各部門で決めるということなので、その部門において令和3年までに計画が練られて、こちらに示されるということなんですか。
事務局	<p>今お示ししているのは戦略の部分でございまして、4つの基本目標を掲げさせていただいております。</p> <p>それで今、委員がお話されている戦術の分でございますけれども、5年後には、こういう目標値でありたいという部分でございますので、当然、その目標値を達成するためには、戦術が必要でございます。それについては、年内中にと言いますか、今後の協議の中でお示ししながら、ご議論いただきたいというところでございます。</p>
委員	<p>これが全部、私が分かるわけではないので、あくまで医師会からの参加ということですので、医療部門・福祉部門に関しては言えるかなとは思いますが、ぜひ戦術まで落とし込んで進めてほしいと思いますが、その中の一つとして、今懸念しているのが、地域包括ケアシステムを実現するため、医療・福祉・介護、ここを絶え間なく連絡出来るような形を作るということで、宮城県の補助事業として医師会で「見守りファイル」というのを作成いたしました。3,000万円です。それで医師会で進めてきましたけれども、何とか市でも協力してくださいということで進めてはきたんですが、この事業の県補助が今年度で終了してしまいます。結局75歳以上の人口が35%になっていますので、登米市の人口を75,000人とすると30,000人くらいがこの高齢者に該</p>

	<p>当し、そのうちの介護が必要な割合を3割としても、10,000人くらいに対して、この「見守りファイル」が回っていってくれば、何かあった時の医療・福祉・介護の連携が図られるだろうと思います。</p> <p>それから、そこまでの本人さん達の意向もみれるだろうということでファイルを作成したんですが、県の補助が終了したら医師会としての事業は終了してしまいます。個別戦略なので、是非そちらの担当課に連携をとっていただきたい。</p> <p>検証した結果、必要なしと言われれば止めていただいてもいいと思うのですが、検証と計画の継続を是非行ってもらえれば、企画でも検討してもらえればと思うのですが、あと半年しかないので、是非お願いしたいと思います。個別計画に係る会議での内容になるのかもしれませんが、よろしく願います。</p>
事務局	<p>今、お話しされたことは、基本目標4に該当する部分かと考えてございまして、現行の1年延長した計画の中でも、安全で安心して暮らし続けられる生活環境づくりという項目の中で、地域包括ケアの充実という部分もございましたので、今後の具体的な施策であったり、事業であったり、そういう展開の中で、どのように盛り込めるかといいますか、読み込みができるかということをしっかり検討していきたいと考えてございます。</p>
会長	<p>今のお話しですが、私の理解とは少し違いまして、私の理解で説明いたしますと、13ページの絵がありますが、総合戦略というのが実は総合計画とある意味一体の取組でして、総合計画で言えば、政策というのが戦略に当たって、基本計画から実施計画に落とし込んで、それが戦術ということになると思いますが、そういう中で、総合戦略の方は、そういう施策の構造を利用して、より強力で押し進める部分というような、私なりの解釈はそういう解釈でございます。</p> <p>ですから、そういう意味では戦術の部分についてはかなり総合計画で挙げていることが、意識されてくるのかなと、そういうことになるんだろう思っておりますので、今のご意見なんかは総合計画の方で、しっかり盛り込んで対応していくことにもなるのかなとも思います。</p> <p>必ずしも完璧に一致するという言い方も変ですが、ということもないんですけれども、基本は総合計画の中で謳っている施策、そういうものがベースになるのは確かだと思いますので、一体的に議論させていただければと思っています。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>その他、私からですが、12ページの(2)で、人口ビジョンとの関係が出てくるわけですが、その中で最初に高齢化率が上昇するというところで語り始めていますが、ここには人口ビジョンは出ておりませんが、資料3の16ページのグラフを見ていただくと、確かに高齢化率は上昇して、今後もしばらく上昇し続けるということもあるんですが、既に高齢者人口として横ばいから、いよいよ減少に入っていくのかなという状況になっています。そ</p>

	<p>ういうことを考えると、より重要なのは、若い人たちをどう増やしていくか。その結果として総合戦略の基本目標1, 2, 3という中で、若い人、働く人を増やしていきましょうという流れになっていますので、そのあたりをもう少し明確に書いていただいた方がいいのかなとは思いますが。</p> <p>それで改めてグラフを見ると、現在の総合戦略もほぼ同じような戦略で走ってきましたけれども、残念ながら、目に見えて増えていないという現実がありますので、そこを踏まえて、第二次ではどう取り組むのかというところを増やしていかないといけないのかなと思っております。</p> <p>そういうことで、例えば基本目標3の中で、出生者数を掲げておりますけれども、必ずしも登米市で生まれる子どもを増やすということだけではなくて、目標2と合わせて、結婚を機にあるいは出産を機に登米市に住んでもらうというような対策も合わせていかないと若い人たちを増やすということに繋がっていかないのかなという感じがあるので、そのあたりも他の目標との連携も踏まえて戦略を練っていく必要があるのかなと感じております。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>先ほどの総合計画のひとつ後を追いかけるような形でスケジュールが進んでおりますので、もう少し総合計画よりは議論していく時間がもう一つあるのかなと思っておりますけれども、これもなかなか急にとという難しいですので、ゆっくり総合計画と併せて見ていただくことで、また何か意見があるかと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど話した部分との関連ですが、20 ページ、第5章の4、四角の3番目、「災害に強いまちづくり、宮城モデルの構築」…とあり、素晴らしい構想だなと思うのですが、具体的にずっと読んでみると、何となく防災指導員を配置するというような意味合いにしか取れないようなそんな中身で、私の理解力が足りないのかも分かりませんが、先ほど私が言ったような、コロナも含めた感染症、17 ページにも近年頻発する…という部分で、感染症対策などにも取り組みますということも書いてあるわけで、これは災害と非常に重複する部分があるので、避難する場所が感染症対策も含めてとなると、これまでの広さでは足りない部分も出てきたり、いろいろございます。さっき言ったとおりです。ですが、ぜひこの具体的な部分では私の理解力が足りなくて、読み方がマズいのかもしれませんが、20 ページ、第5章の4、四角の3番目に書いてあるようなことにもう少し肉付けをしていただいて、具体的に防災指導員を多く配置することが全国のモデルになるなんて形ではなく、もう少し「水の里」の災害、登米市は川から湖沼から沢山あるわけですから、台風も含めて、水害の災害対策も具体的に出してもらえればいいのかと思いたしたので、申し上げました。</p>
<p>事務局</p>	<p>20 ページにつきましては、宮城県の部分でございまして、私どもの方で説明させていただきました今の話の部分ですと、基本目標4の中でしっかり位置付けが必要なのかなと思っております。先ほど会長からもお話があったとおり、総合戦略については、総合計画の基本計画等ございますけれども、そ</p>

	<p>の中でもより重点戦略となるものと相まってより具体的なものを載せている部分でございますので、基本計画と同様に、いただいたご意見を踏まえて、整理していきたいと考えております。</p>
会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>そうしましたらまた何かお気付きの点があれば、事務局の方に直接お話いただければということで、議事については以上ということで、終わりにさせていただきます。</p>
【7 その他】	
事務局	<p>次回の日程等について説明</p>
【8 閉 会】	
副会長	<p>本日は4つの議題について審議いただきました。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>皆さんの声が計画に盛り込まれるといいなと思います。</p> <p>この数か月コロナ感染のことで、朝から晩までコロナ、コロナで全然抜け出せませんでした。私はその中で登米市の取組としてすごく安心したことがありました。発熱外来を開始するということで、市民病院に行く時も心配をしなくても行けるのかなど。そういうような一市民としては小さな小さな安心なんですけれども、そういうことが、まちづくりに活かされるのかなど。そういう安心がいいまちだなというように繋がっていく良いことをしていただいたなと思います。</p> <p>また、今回、担当部局名が「まちづくり推進部まちづくり推進課」に変わったということで、すごく柔らかくて、親近感を抱くような言葉の在り方も大切なのかなと思いました。</p> <p>高齢化が進んで若い人たちが居ないと言いますけれども、テレビを観ていますと、若い人たちはテレワークも定着していて、豊かな地方へ出ていきたいというような願いも多くあるみたいです。ここ登米市は本当にピンチはチャンスだというようなチャンスなんですけれども、NHKの朝ドラが始まって、ここが映し出されるということですので、登米市は食べ物も豊富だし、自然も豊富だし、いろんな意味でそういうようなことを利用して、戦略を練って戦術を練って、そして若い人たちをいっぱい増やすというような、そういう在り方もいいのかなと思いました。それにはやはり一つはPRだと思います。私たちは全体的な総合計画の内容を練っていますけれども、小さな安心するというような市民の気持ちも行間に込めた総合計画に練り上げていけたらと思います。</p> <p>事務局の皆様には本当に連日激務でいらっしやると思います。本当にお疲れ様です。</p> <p>あとはコロナ感染には十分気を付けて「油断は禁物」ということですので、それに気を付けて日々過ごしていきたいと思います。</p> <p>今日は長時間本当にありがとうございました。</p>